

九州大学大学院人文科学府 修士論文審査基準

本学府で研鑽を積む者は、人間の精神文化を培う言葉に自覚的かつ批判的に関わる中で、文化・歴史・社会の多様性を認識しながら、新たな人文学的知の創造に寄与していかなければならない。

以上の教育理念のもとで基礎的な研究能力と高度な専門性が求められる本学府修士課程では、論文指導2単位を含めた合計30単位以上の修得と修士論文を修了要件とする。

特に修士論文の審査に関しては、人文科学府修士課程ディプロマ・ポリシーの到達目標を考慮しつつ、以下の審査基準によって総合的な評価を行う。

(審査体制)

修士論文の審査は、主査1名及び副査複数名の審査委員の合議で行う。

(評価項目)

1. 先行研究の基本的な把握
2. 方法論の自覚的な提示
3. 文献・資料の適切な使用
4. 体裁・構成・論旨展開の適切さ
5. 専門性に基づく学術的貢献

(評価基準)

上記の評価項目すべてを満たす学位申請論文を、最終試験を経た上で、修士論文として合格とする。

九州大学大学院人文科学府 博士論文審査基準

本学府で研鑽を積む者は、人間の精神文化を培う言葉に自覚的かつ批判的に関わる中で、文化・歴史・社会の多様性を認識しながら、新たな人文的知の創造に寄与していかなければならない。

以上の教育理念のもとで高度な研究能力と専門性ならびに新たな学術貢献が求められる本学府博士後期課程では、論文指導4単位と博士演習4単位を含めた合計8単位の修得と博士論文を修了要件とする。

特に博士論文の審査に関しては、人文科学府博士後期課程ディプロマ・ポリシーの到達目標を考慮しつつ、以下の審査基準によって総合的な評価を行う。

(審査体制)

学位論文の審査は、主査1名及び副査3名以上の論文調査委員の合議で行う。

(評価項目)

1. 内外の先行研究の包括的な把握
2. 研究方法の厳密な提示とその妥当性
3. 文献・資料の使用における研究倫理の遵守
4. 明快な論旨と適切な構成と緻密な論理
5. 高度な専門性に基づく新たな学術的貢献

(評価基準)

上記の評価項目すべてを満たす学位申請論文を、最終試験を経た上で、博士論文として合格とする。